

## 課題概要

デザイン指導・相談に以下の広報物が初稿として提出された場合、

- ①どのような指導を実施するかを具体的に記載してください。
- ②その指導の結果出来上がるデザインの完成例を併せて添付してください。

なお、デザイン完成例に使用する写真、イラスト等の素材については、他者の著作権を侵害しないものに限ります。

## 対象広報物

岐阜県広報紙「ミナモ通信」

## 広報物の目的

- ・岐阜県の施策やお知らせ等を県民に分かりやすくお伝えする
- ・地域情報誌（フリーペーパー）に掲載

## 広報対象

岐阜県民

## 広報物の作成数・サイズ

約50万部（掲載フリーペーパー発行部数合計）、A4

## 課題内容

「G-クレジット制度」について、岐阜県民向けに分かりやすく紹介する。

# 岐阜県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度 「G-クレジット制度」がスタートしました

清流の国ぎふ  
マスコットキャラクター  
ミナモ



## 清流の国ぎふ ミナモ通信

「脱炭素社会ぎふ」・森林吸収量認証制度(G-クレジット制度)は、県内の適切に管理された森林による二酸化炭素吸収量を「クレジット」として県が認証する、県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度です。クレジットの取引で得られた資金を活用し、健全で豊かな森林づくりを進めることで森林の二酸化炭素吸収量を維持・増大させるとともに、社会全体に環境保全活動を広げることで、「脱炭素社会ぎふ」の実現を目指します。

令和5年11月1日スタート!

### G-クレジット制度の特徴



制度の詳細はこちら

#### カーボン・クレジットとは…

企業が森林の保護や植林、省エネルギー機器導入などを行うことで生まれた二酸化炭素などの温室効果ガスの削減効果(削減量、吸収量)をクレジットとして発行し、他の企業などとの間で取引できるようにする仕組み



▲ヒノキ人工林(郡上市)

#### ①対象森林

平成24(2012)年度以降に「岐阜県環境保全林整備事業」で施業が行われた県内の森林(※)  
※森林経営計画策定済みまたは策定予定の森林を除く

#### ②信頼性・透明性の確保

国のJ-クレジット制度のルールや仕組みをできる限り取り入れ、信頼性・透明性を確保

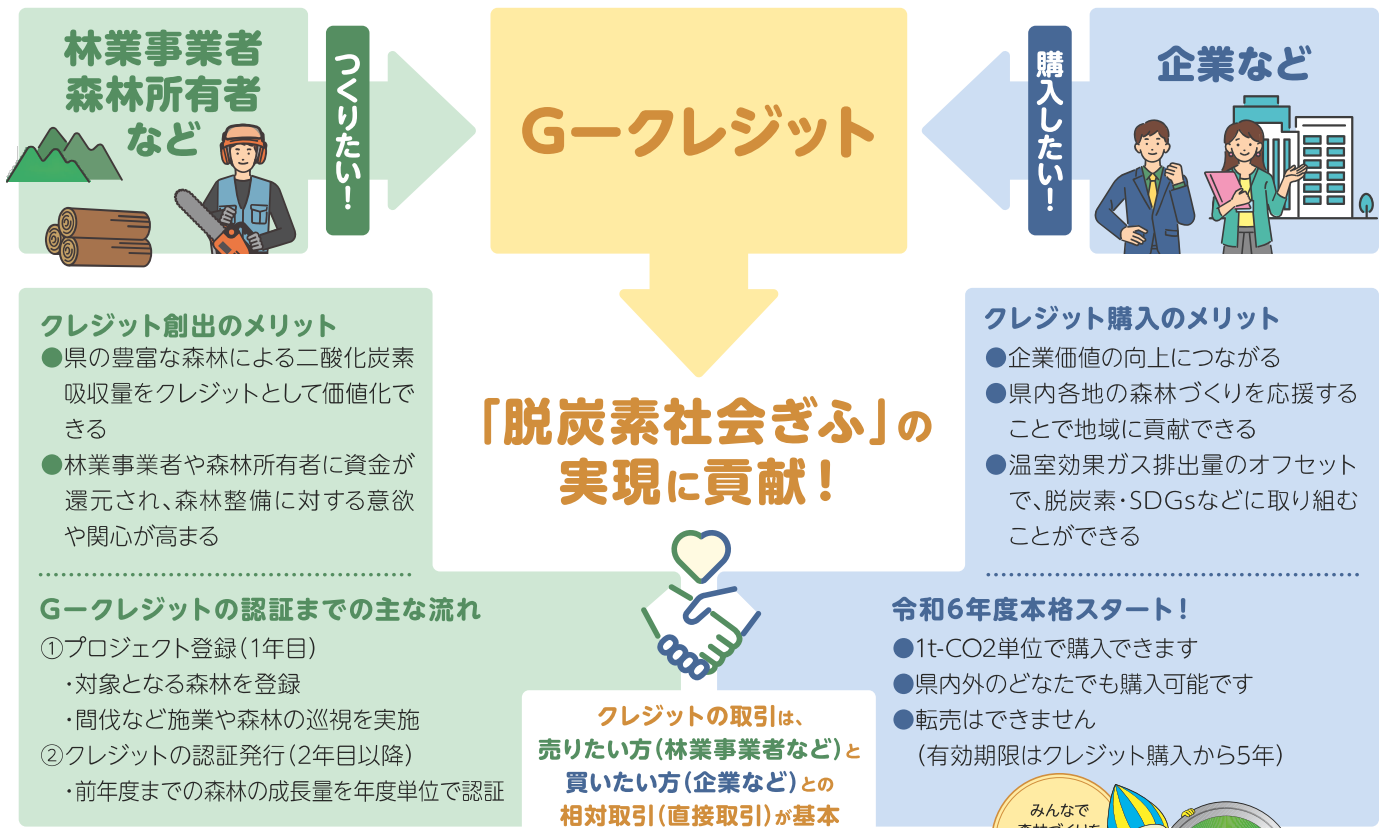
#### ③申請者負担の軽減

申請者の手間や経費等の負担軽減のため、申請書類はできる限り記載項目を簡素化。審査費用は無料

#### ④その他

県内の地域を選んで森林づくりを応援することで、土砂災害の防止など公益的機能を維持・増進

## G-クレジット制度の仕組み



### 私たちも考えよう!

ヒノキ人工林の二酸化炭素吸収量は?

県内の60年生ヒノキ人工林1haの二酸化炭素吸収量は年間約4.3t-CO2です。

日常生活ではどのくらいの二酸化炭素を排出しているの?

県内の1世帯の二酸化炭素排出量は、年間約3.3t-CO2。家庭におけるエネルギーの消費は、電力やガソリンなどが大きな割合を占めています。  
出典:岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画令和4年度報告書

【問い合わせ先】 G-クレジット制度運営事務局

受付時間/9:00~17:00(平日/月~金) ☎058(201)5112

【制度管理者】 岐阜県 林政部 森林活用推進課 森林吸収源対策室 ☎058(272)1111(内線4346)

